



平成23年10月27日

各位

上場会社名 株式会社 篠崎屋
 代表者 代表取締役社長 樽見 茂
 (コード番号 2926)
 問合せ先責任者 経営企画部長兼IR室長 沼岸 昭宏
 (TEL 048-970-4949)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,059	189	195	170	1,183.04
今回修正予想(B)	5,256	△9	△9	△35	△249.49
増減額(B-A)	196	△199	△204	△206	
増減率(%)	3.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年9月期)	5,825	203	196	206	1,439.56

修正の理由

(1) 売上高の修正理由

売上高につきましては、第3四半期会計期間では計画比239百万円増加しました。一方で第4四半期会計期間は計画比250百万円減少しました。その要因として、東日本大震災の影響と思われる個人消費の変化および前期に引き続き猛暑に対応した豆腐類等の商品開発効果が想定を下回ったことに加えて、今年度の出店は期初20店舗程度を計画しておりましたが、1店舗あたりの売上が拡大し今後の店舗展開のためには人材育成を優先すべきとの判断の下、第3四半期3店舗、第4四半期におきましては1店舗の出店にとどめ、通期では出店14店舗、閉店4店舗と純増は10店舗と計画を大きく下回りました。

その結果、第2四半期累計期間で上回った売上高208百万円が増加主要因となり計画比196百万円増加の103.9%となる見込みとなりました。

(2) 利益の修正理由

営業利益・経常利益・当期純利益が計画を下回った主要因は、販管費率はほぼ計画通りとなった一方で、粗利率が計画を4ポイント強下回ったためです。

理由としては、第4四半期会計期間の売上高減少に伴い、豆腐・揚げ物類等の販売数量が計画を20%程度下回ったことが要因となり工場稼働率が低下し、粗利率低下の主要因となりました。

結果、営業利益で199百万円、経常利益で204百万円、当期純利益で206百万円業績予想を下回る見込みとなりました。

以上より、平成23年9月期通期の業績予想につきましては、上記数値のとおりとさせていただきます。

以上